

卓話 交通事故について 岩塚会員

戦後の著しいモータリゼーションの発達と共に、交通事故の件数は逐年全国的に増加しているのは誠になげかわしいことです。私共の家族や友人、隣人がたえず交通事故の危険にさらされているということは正に交通戦争と言つて良いでしょう。この傾向はアメリカ、イギリス、フランス等でも同様で、交通安全を祈る気持は何人も同じであり、各国各様にその対策に驚心しております。

この世で何よりも大切で尊いのは人の命です。事故は容赦なく、被害者は勿論のこと、加害者といえども家庭の幸福と人生を破壊するものです。

それなのに何故1日平均1千数十人の死傷事故がおこるのでしょうか。車が多過ぎる、道路が悪い、交通徳徳が地に落ちた等、事故発生にはいろいろの悪条件が重なつて起こるのが通常です。現代では交通法の知識は殆どの人に普及されている筈であり、事故は「交通法を知つていても守らないからだ」と言つてしまえばそれまでですが、私はここでもう一歩考えてみたいと思います。

殆どの交通者が交通法を信じよく守り、他人も守ることを信じて交通をしています。任んの一部の運転者又は歩行者が、現代の交通事情をわきまえずに危険な交通をするのが事故発生の原因となる例が多いようです。又車の増加、車の性能の向上に加えて、生産量の増加によるスピード化があり、従つて私達は仲々意のままに出来ない中で交通をしなければならない面があります。

もう一つは、日本の交通は運転者の条件が歩行者に多くの死傷を与えていることです。事故発生の直接の原因の大部分をなしているのが運転者です。ハンドルを持つ時はあらゆる間接的な悪条件をのりこえて安全運転をする、これ以外にないと思います。

現代の人間生活の中で自動車程便利な必需品はありません。その便利な点だけにおぼれ、その内にひそむ危険性を忘れてはなりません。人の気持次第で凶器にもなれば文明の利器にもなります。自動車の運転は頃良い時期にはつきり合図をしながら、常時丸味のある動かし方が好ましいのであります。

毎日のように思いがけない事故がおこるものです。母親に追われて道路に飛び出す子供、一寸の間に車の下に入る幼児等、思いがけない事故を見聞する度に、一体注意すると言うことはどこまですれば良いのかかわからないのですが、そのどこまでかわからぬ注意を、思いがけない行動に備えて底なしの注意をする習慣を身につけて実行する、これが事故防止の要因であると思います。

○訂正 前号平野会員の卓話中、電子計算機超小型14万円は1千万円、小型14~44万円は1千~4千万円の誤りでした。

次回(4月12日)の例会日をお忘れなく
100%を目ざしましょう。



通算第159号

1966~1967-4-5

函館北ロータリークラブ

第143回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

本日のプログラム
会員卓話 “医学会総会こぼれ話” 深瀬君

- 司会 飯田会長 司音 唱 君が代、奉仕の理想
ビジター 西出和吉君(石川隈山中 工芸品製造).....バナー交換
植木正雄君(釧路 カップ販売) 大阪谷貞治君(札幌南 証券業)
野口誠一郎君(小樽 日本酒製造) 谷義一君(森 電気工事)
五十嵐久一君他7名(函館) 岩坪淳君他4名(函館東)

会長報告

- 岡田ガバナーより書信が参りました。それによりますと東ヶ崎潔氏には対立候補がなく、待望の日本人初のR、I、会長が誕生することに決定しました。然し東ヶ崎氏がエレクト、ノミニー、会長としての3年間に約1千万円の経費が必要です。先般ガバナー合同会議で全国の会員が1名3000円位の援助をし、お役に立てようとしたのでよろしくとのことでした。
- 函館総合職業訓練所で4月8日に入所式があります。都合のつく会員は出席し、若入に対し激励下さるようお願いいたします。

幹事報告

- 例会終了後理事会を行ないます。
- 地区の年次大会は9月16、17、18日の3日間室蘭市文化センターで開催されます。出席者は4月20日までにお申し出下さい。
- 小畑ガバナー・ノミニーの御餞別を至急御提出願います。

新入会員紹介

谷口勇君 杉本敏雄君 (次号に掲載します)

ニコニコ箱

御結婚記念日おめでとう 飯田会長 木屋君 宮崎君 市川君

出席報告

- 本日の状況 会員数33名 出席28名
- 前回の確定出席率 93.65% (31名中出席29名)
- 他クラブの状況 函館91.43% 函館東97.37%

映 画 “生まれ変わる草原の国 モンゴル”

中ソ大陸の間にある海のない草原の国「モンゴル」は、面積は日本の4倍、人口は僅か105万人である。1921年の革命以来社会主義国となり、大いに変貌した。これはNHK特別報道班の現地取材記録である。

映画は表玄関である首都ウランバートル空港から始まる。中央政庁、ツェデンバル首相、建国の父スフバートルと彼を助けたレーニンの像、国立図書館前のスターリン像、国営百貨店、市民の生活、中共がつくつた平和大橋、北京発ウランバートル経由モスクワ行き国際列車、郊外の大草原、20万haの国営農場、建設中のダルハン工業基地、シャロンオル炭坑、文字革命後の教科書と入学式風景、スポーツ、歌と民族舞踊等々……

偉大なる祖先ジンギスカンの子孫達は、牧畜の国から工業の国へ、新しい大社会主義国をつくろうと果敢に努力している。(カラー約30分)

新年度役員及び委員会構成

会長(理事) 侯野純夫 副会長(理事) 木屋守迪 外山定雄
 理事 飯田神生 神原金一 深瀬鴻一郎 船矢健喜智
 幹事 水上美喜雄 副幹事 杉本隆治 会計幹事 高田誠二
 SAA 山形清 副SAA 岩塚陽一

1. クラブ奉仕 担当 木屋守迪

出席 ◎遠藤尙義 ○杉本隆治 森正 飯田貢一
 親睦 ◎市川芳夫 ○塚田次郎 藤野藤太郎 森正 飯田貢一
 山辺繁樹 谷口勇 杉本敏雄 伊藤正人

雑誌 ◎青柳喜一

会員送考 ◎新善次 ○塚田次郎

プログラム ◎成田勇司 ○宮崎英一 西村秀則

広報 ◎西村秀則

クラブ会報 ◎戸栗力 ○高杉重雄 平野義勝 下郡山信一

職業分類 ◎船矢健喜智 ○戸栗力 塚田次郎

R、情報 ◎深瀬鴻一郎 ○船矢健喜智 外山定雄

2. 社会奉仕委員会 ◎飯田神生 ○山内一雄 新善次 遠藤尙義

3. 職業奉仕委員会 ◎神原金一 ○野村宣市 布目賢治

4. 国際奉仕委員会 ◎外山定雄 ○深瀬鴻一郎

(以上敬称略 ◎印委員長 ○印副委員長)

次回(4月19日)のプログラム

卓 話 “函館の工業” 飯田会長



通算才160号

1966~1967-4-12

函館北ロータリークラブ

第144回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

1230~1330

本日のプログラム 卓 話 “函館の工業” 飯田会長

司 会 成田副会長 斉 唱 奉仕の理想

ビジター 寺田稔君他18名(函館) 丸山一男君他14名(函館東)

幹 事 報 告

1. 明13日12時30分より函館クラブでガバナー・ノミニーの杜行会を兼ねた例会が行なわれます。皆様方多数の御出席をお待ちしております。
2. 東京R.O.より、東京新宿に「東京ロータリークラブ」なる旅行幹旋業者があり、これはロータリーとも又東京クラブとも全く関係がなく迷惑しており、皆様方感わされぬよう御注意願いたいとの手紙が来ました。

新入会員紹介

伊達正人君 (成田副会長より)

卓 話 “医学会総会こぼれ話” 深瀬鴻一郎君

「分化と総合」をテーマに掲げた才17回日本医学会総会が、去る4月1日から3日間(総会の前夜2日間分科会)、始めて名古屋市で開かれました。4年に1度の医学の祭典と言われるだけに、約2万5千人が集まりました。

総会に行くとはロータリーと同様に先ず登録で、バッジと白いカバンを貰います。為に名古屋市内は白いカバンであふれました。又バッジには総会のシンボルとして「風見鳥」のマークがあり、この鶏に「分化と総合」をめざす新しい医学の夜明けを託したのだとのことです。会場は数十ヶ所に分かれ、3日間に134の講演又はシンポジウムが行なわれました。国外の招待学者40名も加わり、専門的な問題が多く、わかる場所もわからぬ場所もありました。

今回の主要問題は癌、高血圧、心疾患、公害、交通災害、非行少年問題等でした。又種々の催し、例えば300枚のパネルを使った学術展示会、各メーカーが腕にかりをかけての薬品展示会、新しい病院展、体育館を二棟使用しての医療器械展示会等もありました。殊にM.E.(メテカルエレクトロニクス)の進歩は素晴らしいものでした。そのうちに「街角に健康ボックスなどが出来て、お金を入ると病名と処方箋と薬の値段が出て来、更にお金を入ると薬が出て来るようになる」のも夢ではないと言った人があります。然し私は器械